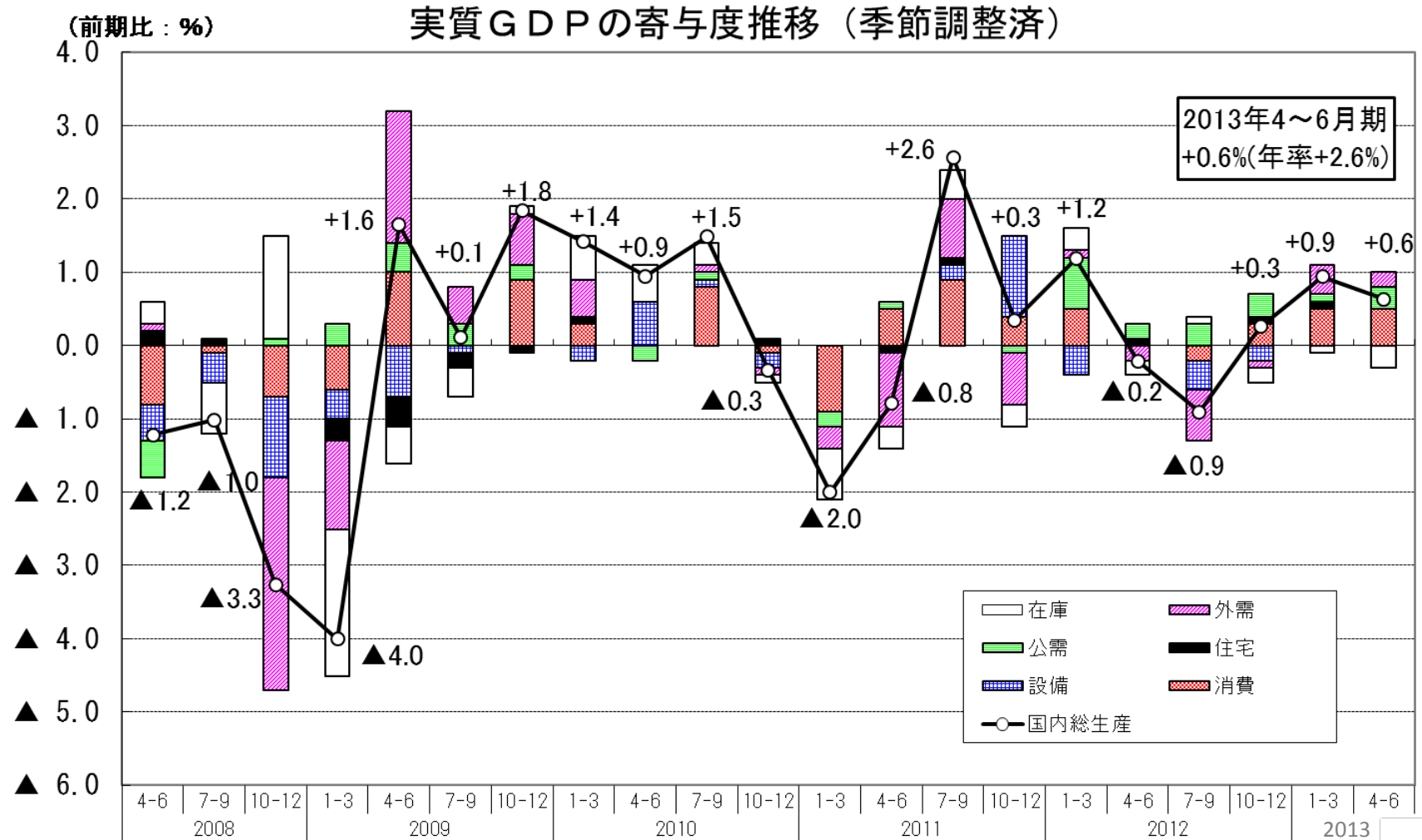


最近の経済情勢について

経済産業省
平成25年8月21日

GDP

○ GDP成長率は、足下で着実に改善。景気は着実に持ち直し。

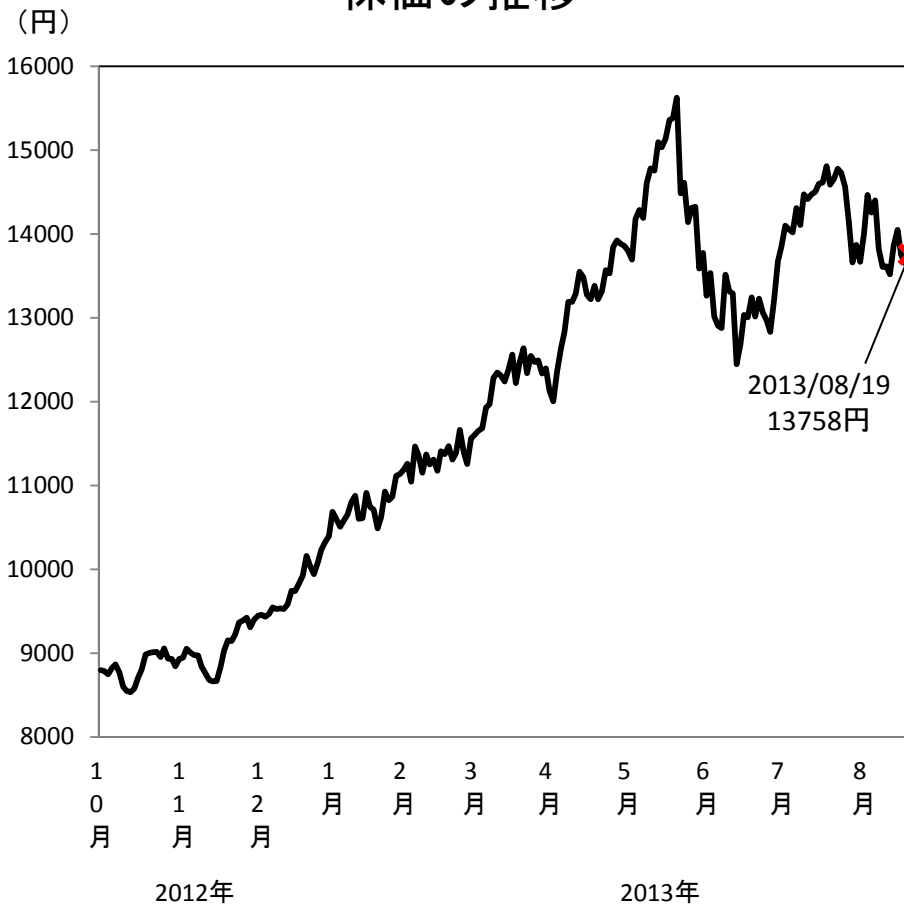


【出所】内閣府「四半期別GDP速報」

株価・為替

○ 株価、為替ともに大幅に改善。

株価の推移



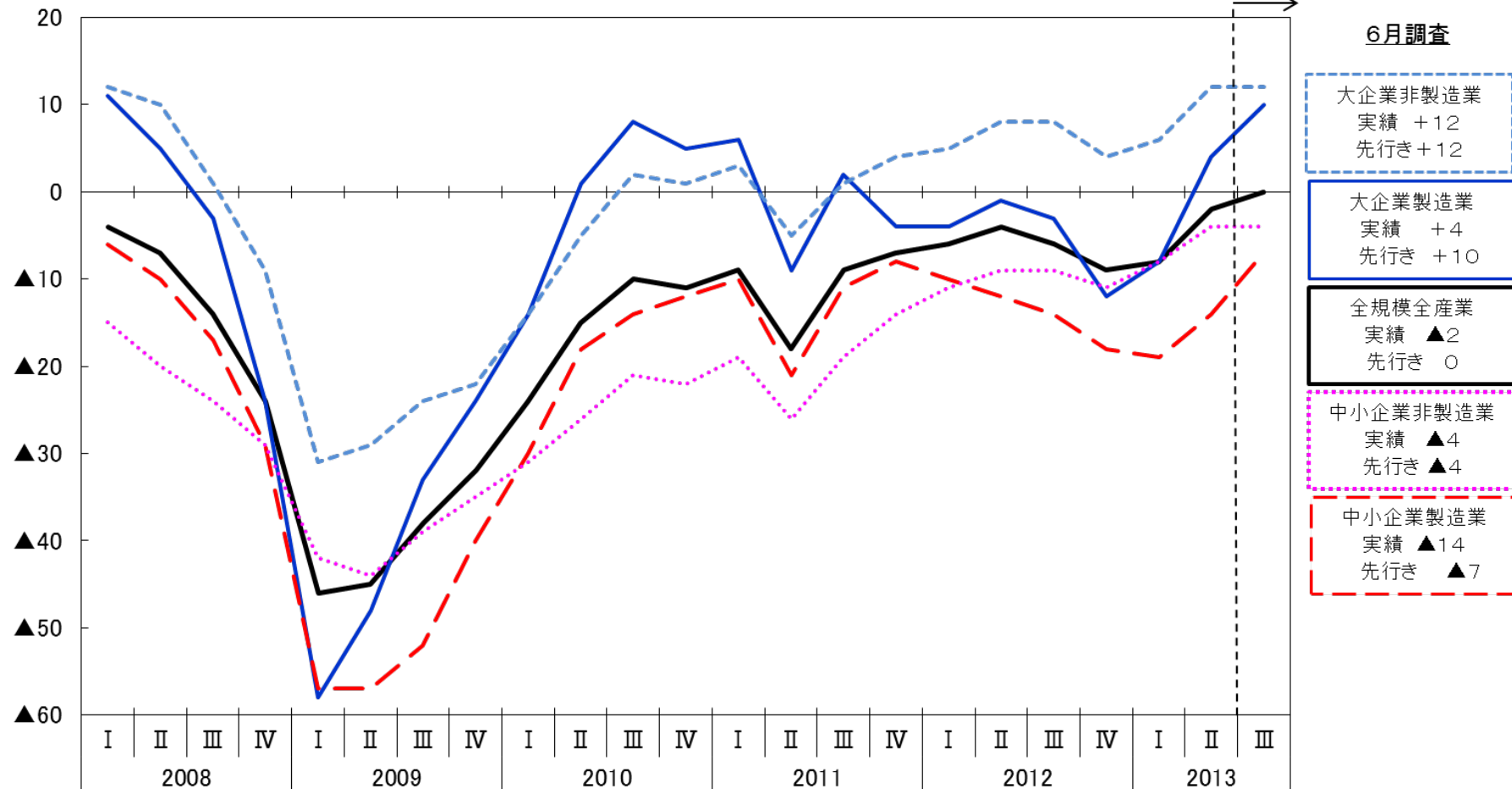
業況感

○ 企業の業況感は、中小企業も含めて改善。

D. I. = (「良い」-「悪い」)

業況判断D. I.

先行き

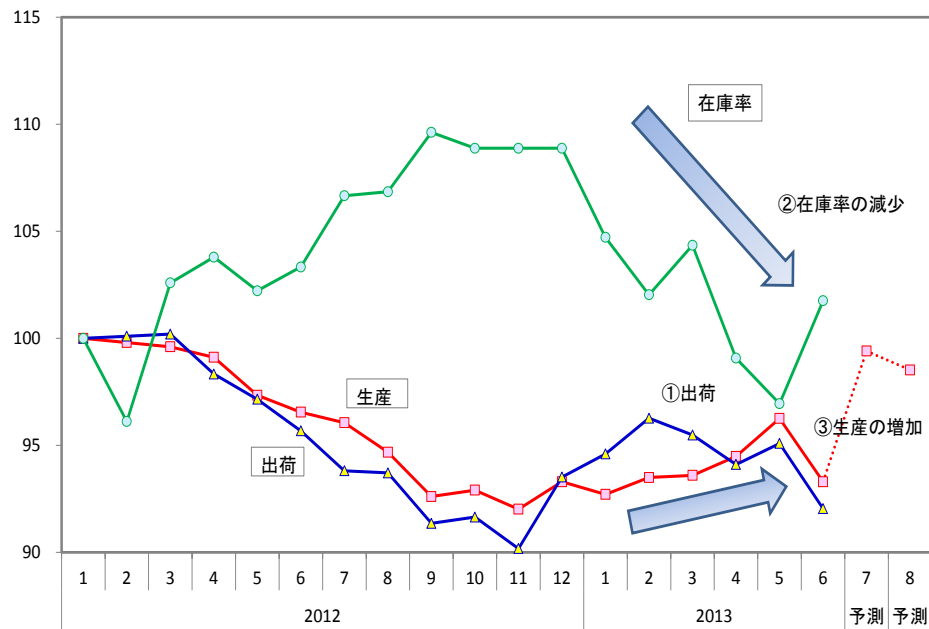


【出所】日本銀行「全国企業短期経済観測調査」

生産

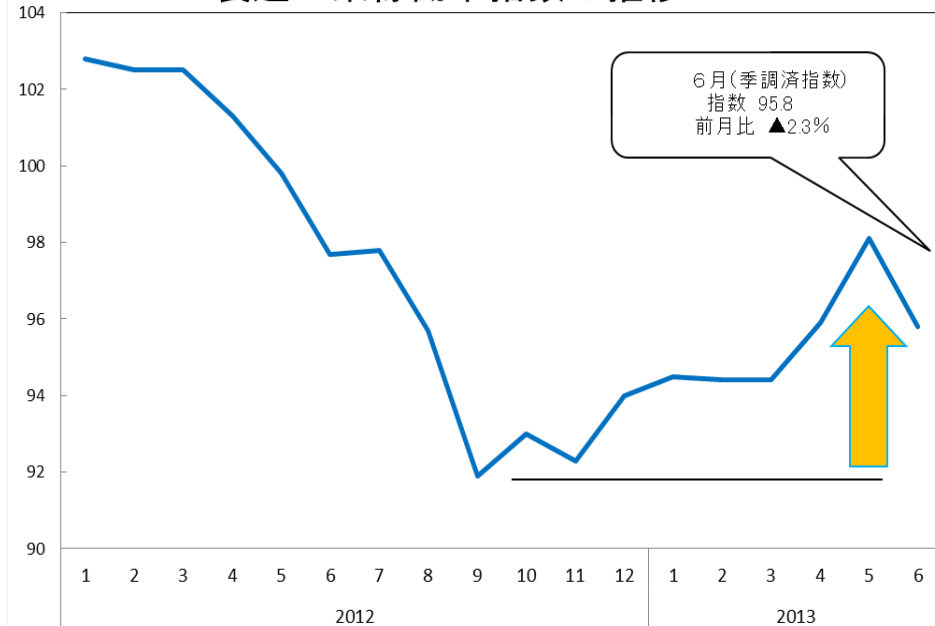
- 足下で出荷の増加→在庫の低下→生産の増加という生産回復軌道が見られ、生産は緩やかに増加。
- 設備稼働率も改善。

鉱工業生産・出荷・在庫率指数の推移(2012年1月=100、季節調整済)



【出所】経済産業省「鉱工業指数」

製造工業稼働率指数の推移 (2010年=100 季節調整済)

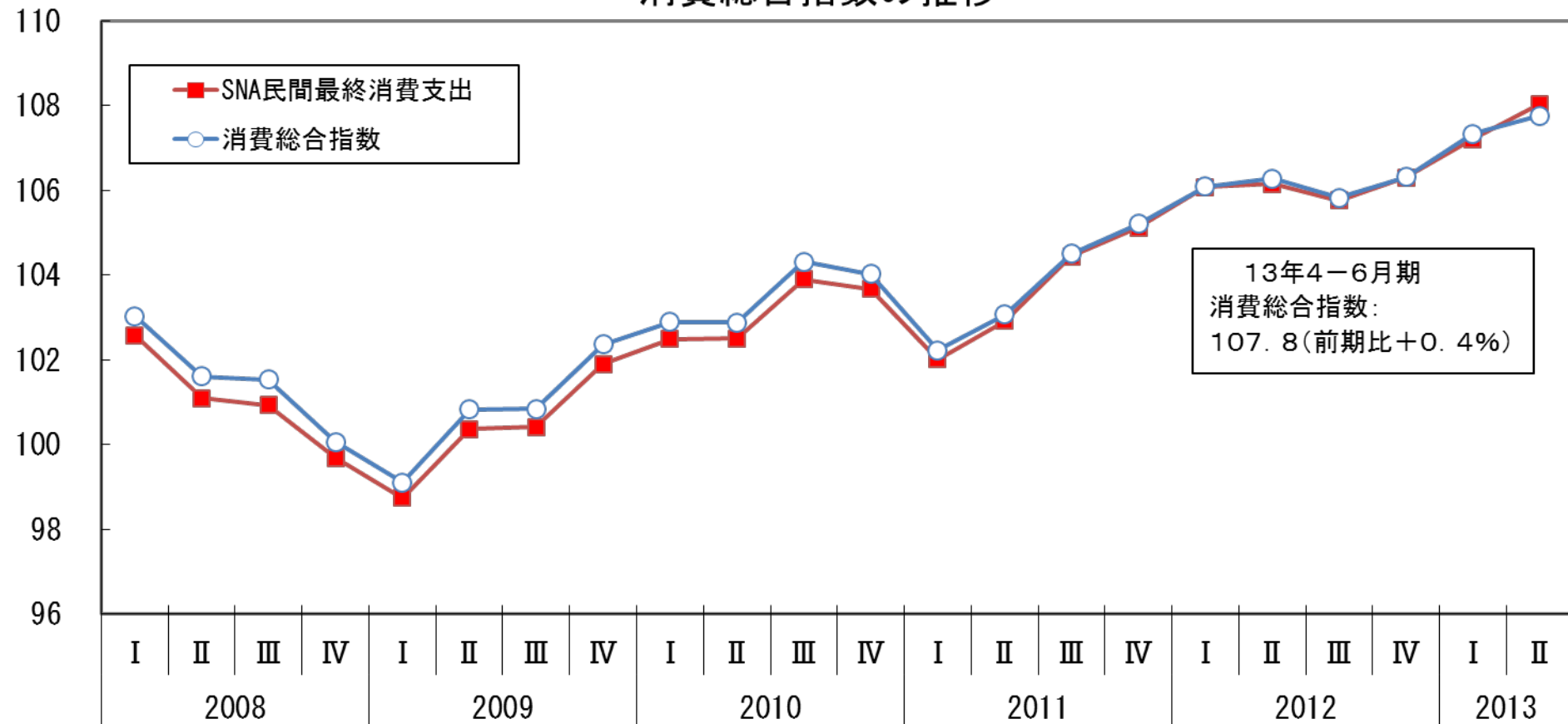


【出所】経済産業省「製造工業稼働率指数」

消費

○ 個人消費は持ち直し。消費総合指数は、足下で1994年以降最高水準を記録。

消費総合指数の推移



【出所】消費総合指数、国民経済計算（内閣府）

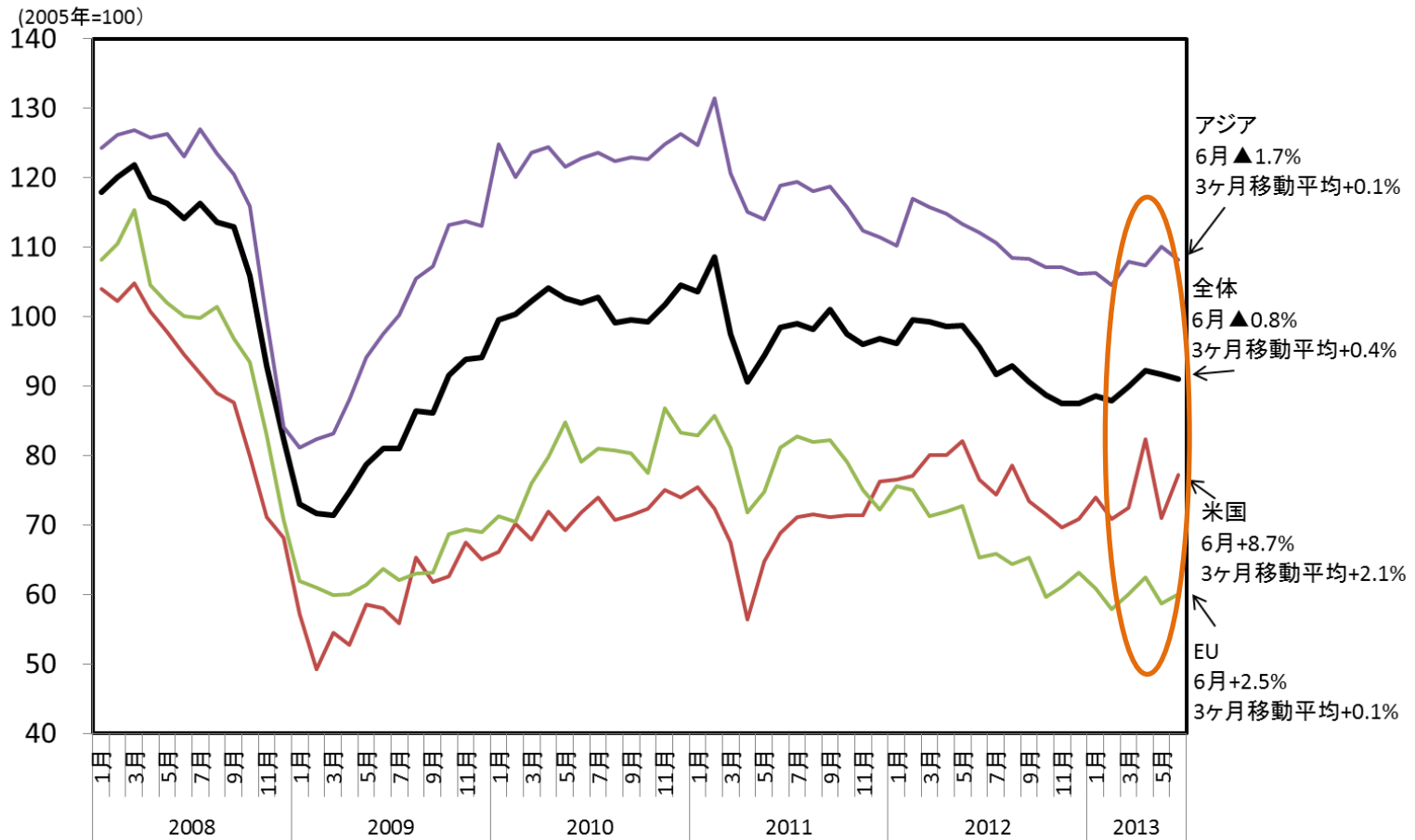
（注）消費総合指数は、実質季節調整済み指数（2005年＝100）

SNA民間最終消費支出は、実質季調済実額値を2000年＝100として指数化。

輸出

○ 輸出は持ち直しの動き。

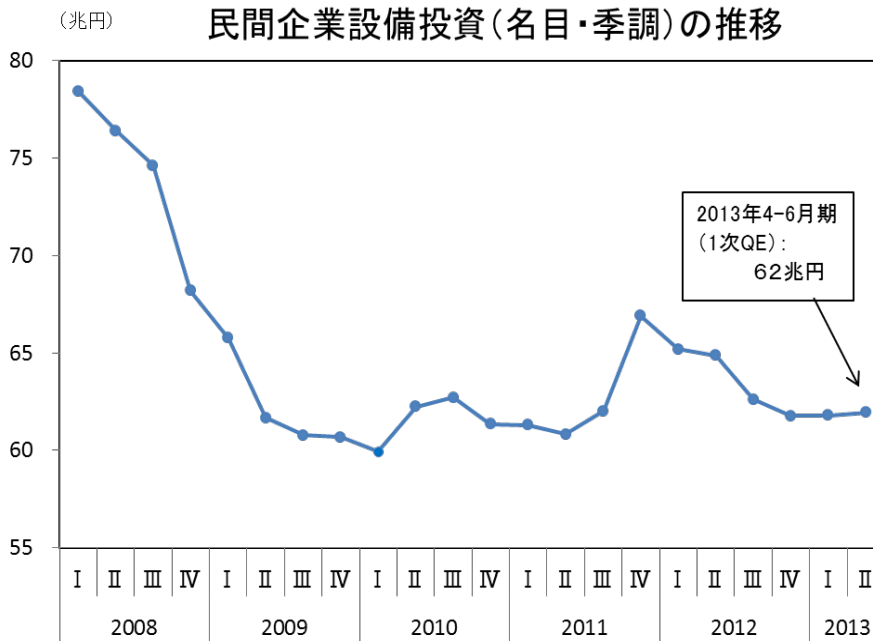
地域別輸出数量(季調値)



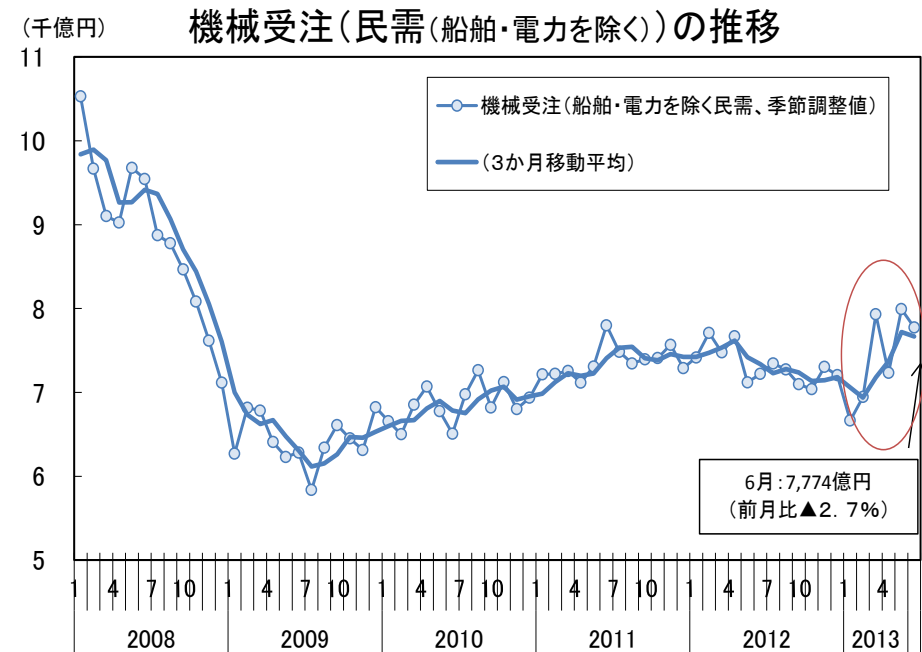
【出所】財務省「貿易統計」より作成

設備投資

- 設備投資は、おおむね下げ止まっており、一部に持ち直しの動き。
- 設備投資の先行指標とされる機械受注は、4-6月期に5四半期ぶりに前期比プラス。



【出所】内閣府「四半期GDP統計」

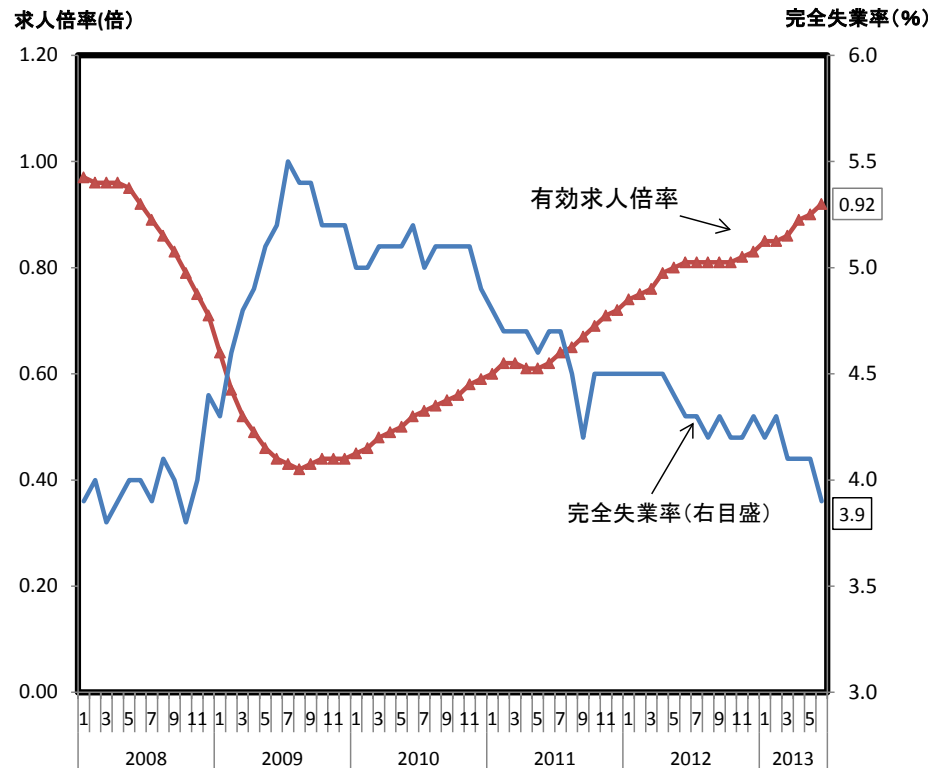


【出所】内閣府「機械受注統計」

雇用・賃金

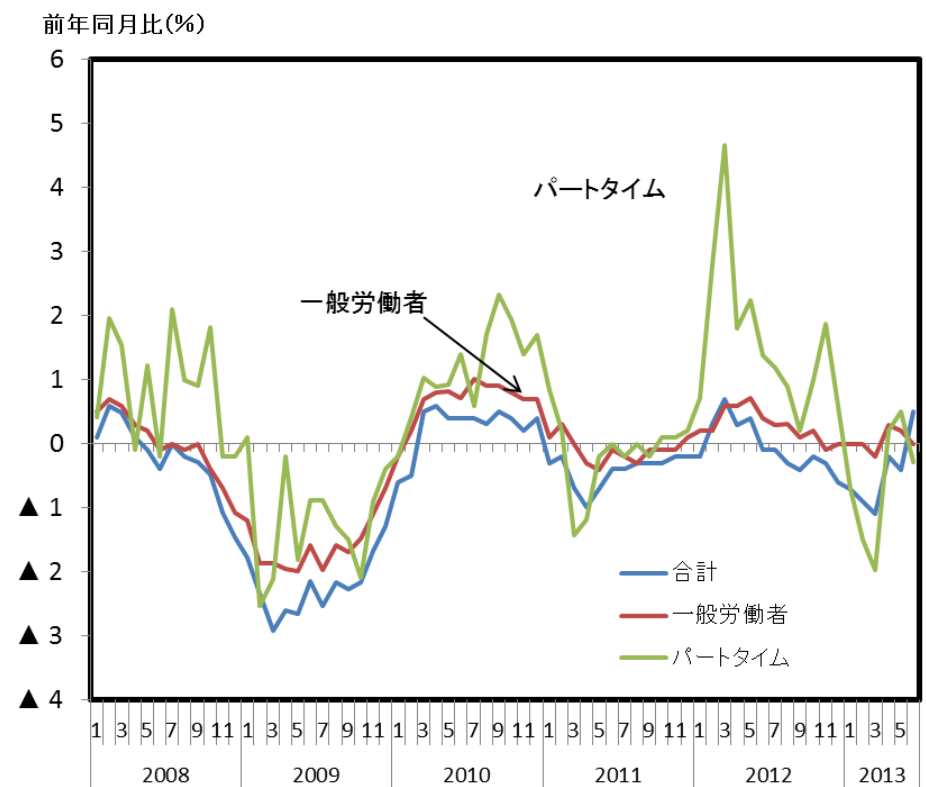
- 失業率は、リーマンショック直前の水準を回復し、足下3.9%まで低下。有効求人倍率も上昇傾向。
- 賃金は持ち直しの動き。

失業率・有効求人倍率・新規求人倍率の推移



【出所】総務省「労働力調査」、厚生労働省「一般職業紹介」

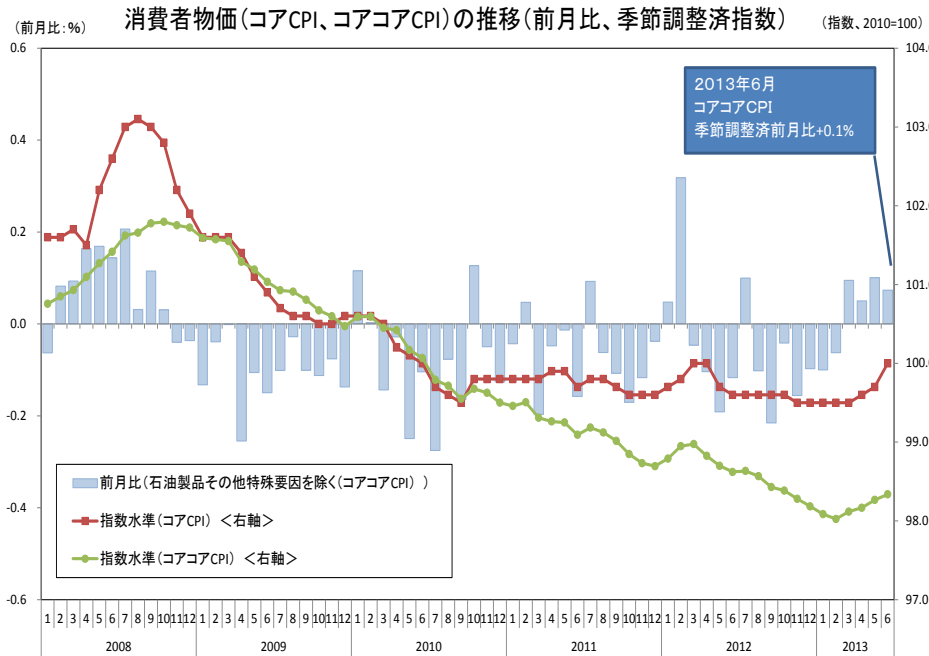
1人当たり現金給与総額(前年比)の推移



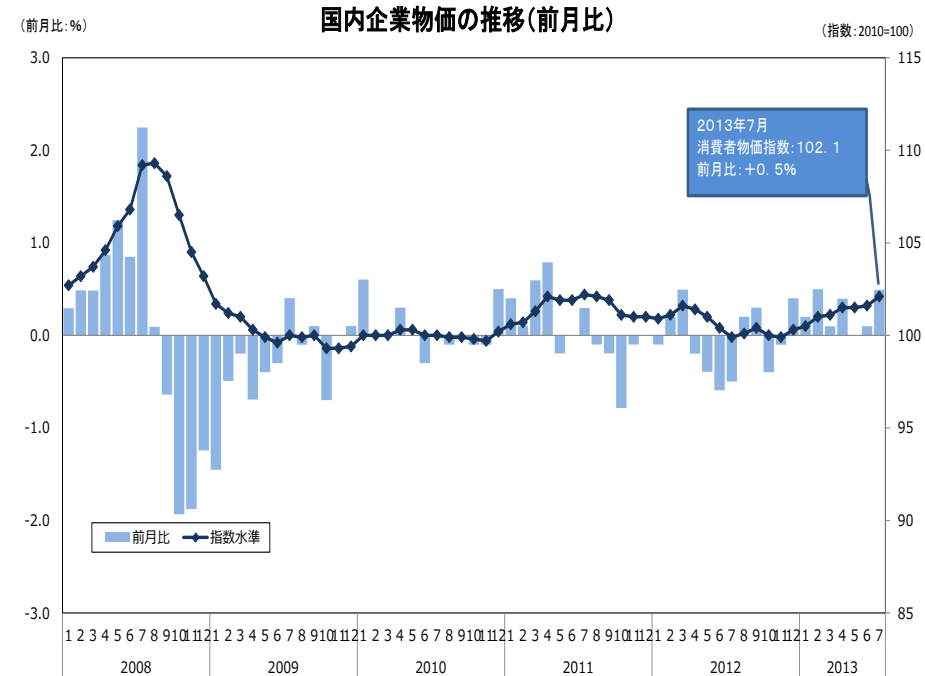
【出所】厚生労働省「毎月勤労統計」

物価

- 消費者物価(食料及びエネルギー等を除く(コアコアCPI))は、このところ横ばい。
- 国内企業物価は、緩やかに上昇。



【出所】総務省「消費者物価指数」から内閣府作成
コアCPI: 生鮮食品を除く総合
コアコアCPI: 生鮮食品、石油製品及びその他特殊要因を除く総合



【出所】日本銀行「企業物価指数」